
2013 年度施設ソーシャルワーク (RSW)

9 機能モデル研修会

1 開催の趣旨

日本における施設サービスは、集団的ケアから個人の自立を目指す生活の場として転換してきた。しかし、本来的な意味で施設が生活の場となるためには、利用者のニーズを捉えた個別支援と環境調整、サービスの質の向上、リスク管理、地域支援の活用など幅広い取り組みが求められる。このような取り組みは施設ソーシャルワークの機能と考えられるが、未だ十分な認識や展開が為されているとは言い難い。

今後、施設が利用者の生活の質を高める場として機能し、また地域包括ケアの拠点となることを見据えるなど、施設ソーシャルワークを発展させるための議論が是非とも必要である。また、社会福祉士養成における実習の多くが施設をフィールドとすることから、施設ソーシャルワークのあり方を議論することは、教育現場からも求められることでもある。

北海道ブロックでは、数年来、施設ソーシャルワーク (RSW) 9 機能モデルを活用した実践例の紹介と実習教育への導入が行われてきた。本年度の研修では、施設ソーシャルワーク (RSW) 9 機能モデルの活用と合わせ、今後の施設ソーシャルワークのあり方と社会福祉士教育への効果的教授法について、養成校と現場との間で積極的な議論を行うことを開催の趣旨とする。

2 開催日時・会場

(1) 日 時 : 2013 年 7 月 20 日 (土) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

(2) 会 場 : 北星学園大学 第 2 研究棟第 1 会議室 (地下 1 階)

〒004-863 札幌市厚別区大谷地西 2-3-1

TEL:011-891-2731 (代表)

(地下鉄東西線「大谷地駅」下車、1 番出口から徒歩 5 分)

(3) 対 象 : ①社会福祉士実習指導者 ②社会福祉士養成校教員

③その他ソーシャルワークに関心をお持ちの方

(4) 定 員 : 40 名 (会場の都合で先着順にさせていただきます。定員になり次第締め切らせていただきます。)

3 プログラム

13:00 開催の挨拶

日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック運営委員長
北海道医療大学 教授 鈴木 幸雄

13:05 基調講演 施設ソーシャルワーク（RSW）9機能モデルの目的と構造

北星学園大学 名誉教授 米本 秀仁 氏

14:30 現場報告 1 高齢者施設における施設ソーシャルワークの展開

北広島リハビリセンター特養部四恩園 副施設長 神部 健史 氏

15:00 休憩

15:15 現場報告 2 障害者施設における施設ソーシャルワークの展開

恵庭光と風の里 地域統括管理者 古山 明美 氏

15:45 全体討論

コーディネーター 名寄市立大学 准教授 忍 正人 氏

16:45 閉会の挨拶

日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック研修委員長
専門学校日本福祉学院 専任教員 丸山 正三

4 参加費

500 円（資料代）

* 研修会閉会後に懇親会を予定しております（会費は 3,500 円程度の予定です）。参加される方は「参加連絡票」の懇親会欄にご記入ください。

5 参加申し込み

別紙、「参加連絡票」にて所属施設・機関毎にお申し込みください。

* 申し込みの締め切りは、7月16日（火）とさせていただきます。